# 第57回 関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会 ≪第6分科会 B 衣食住の生活 食生活 松本市立梓川中学校》

# 技術·家庭科学習指導案

#### 長野県研究テーマ

共に拓く技術・家庭科の学習

第6分科会研究テーマ

健康的な食生活にするために工夫し創造しようとする 資質・能力を育む地域食材を活用した「食生活」の学習

助言者 長野県総合教育センター 専門主事 小口 博子 先生

題材名 「私にまかせて"あなたの健康梓川丼"」

期日 平成30年10月26日(金) 9:45~10:35

授業会場 松本市立梓川中学校 体育館

授業学級 2年2組(男子17名 女子13名 計30名)

授業者 長保 美也 教諭

#### 修正版 「目指す資質・能力 学習過程を踏まえた指導内容の検討」

				目指す資質・能	力					
		知識及び技能		思考力,判断力,表	現力等	学びに向かう力, 人間性等				
			他教科		他教科		他教科			
	学習問題	資質・能力	等·小	資質・能力	等・小	資質・能力	等· 小			
		貝貝 配刀	学校と	貝貝 肥力	学校と	貝貝 112/7	学校と			
			の関連		の関連		の関連			
生	○基礎的な技能を身に付けよ		小学校				小学校			
活	う。 ・食事の役割・計量の仕方	け,用途に応じた食 品の選択についての	家庭科			い食習慣を工夫し創造しようとする態度	家庭科			
の	・りんごの皮むき・錦糸卵	理解				近しよりとする態度				
課	・生鮮食品と加工食品									
題	・食品表示・りんご蒸しパン									
発	○健康な食生活を送るために食	生活の中で食事が果	小学校	「健康」によい食習	理科					
l I	事が果たす役割を理解しよ	たす役割についての	家庭科	慣について考え問題	保健					
見	う。 ・栄養素の種類と働き	理解 中学生に必要な栄養	* 1	を見いだし,課題を もって考える力	体育科					
•	・中学生に必要な栄養の特徴	の特徴、「健康」によ		「健康」の視点から						
解	<ul><li>・6つの食品群</li></ul>	い食習慣の理解		中学生の1日分の献						
決	• 献立作成	栄養素の種類と働		立について課題をも						
方		き、食品の栄養的な		って考え解決する力						
法		特質についての理解 1日分の献立作成の								
の		方法についての理解								
検	○食事摂取基準を満たすサラダ	食品や調理器具等の		「健康」の視点から		自分の食生活から問				
討	の計画をし、調理をしよう。	安全と衛生に留意し		日常の1食分の調理		題を見いだし課題を				
と	○昼食になるチャーハン・スパ	た管理についての理		について, 食品の選		設定し, その解決に				
計	ゲティ・季節の食事を作ろう。	解・技能		択や調理の仕方、調		向けてよりよい食生				
画	(計画・実践・振り返り) ○季節の食事を作ろう。	材料に適した加熱調 理の仕方についての		理計画について,課題をもって考える力		活を考え計画を立て て実践しようとする				
	(計画・実践・振り返り)	理解・技能		題をもつて与える力		作度				
課	○よりよい食習慣を考え工夫し	日常食の調理につい				121/2				
l I	よう。	ての基礎的・基本的								
題		な理解・技能		Fifther - III by a di		1. 1) - 6 (1 × 1 HB )				
解	○自分の食生活を見直し,課題 の解決策を考えよう。	中学生に必要な栄養の特徴、「健康」によ		「健康」の視点で自 分の食生活の問題を		自分の食生活に関心				
決	○自分の食生活を見直し、課題	い食習慣、1日分の		見いだし、課題解決		を持ち、「健康」によい食習慣を工夫し創				
に	を解決できる丼づくりをしよ	献立作成の方法につ		のための献立を考え		造しようとする態度				
向	う。	いての理解		る力						
け	・親子丼とすまし汁の調理	食品や調理器具等の								
た	○家族の食生活の問題を発見 し,課題解決のために解決策	「安全」と衛生に留 意した管理について		「健康」の視点から, 家族の食生活の問題		家族の「健康」を考え、よりよい食習慣				
実	を考えよう。	の理解		を見いだし、課題解		を工夫し創造しよう				
践	・さんまのかば焼き丼の調理	材料に適した加熱調	社会科	決のための献立を考		とする態度				
活	○地域食材(安曇野豚と松本一	理の仕方についての	技術・	える力						
動	本ネギ)を使っての家族みん	理解と基礎的な日常	家庭科	「健康」「安全」「生		地域の人々と協働	総合的			
	なのために梓川丼を作ろう。 〇 <b>ネギを食べちゃいたくなる家</b>	食の調理の技能 地域の食文化, 地域	技術分 野*2	活文化の継承」の視点から家族の日常食		し,「健康」によい食 習慣を工夫し創造し	な学習 *3			
実	族みんなのための健康梓川井	の食材を用いた和食	7.2	の1食分の調理につ		ようとする態度	. 0			
践	をもっとよくしよう。(本時)	の調理についての基		いて食品の選択や調						
の		礎的な理解・技能		理の仕方,調理計画						
評	○白八の糸上江の細胞を細さ			を考える力	/□ //+ /	白八も安佐のなり				
価	<ul><li>○自分の食生活の課題を解決 するために、今まで学習して</li></ul>			「健康」の視点から 自分の食生活の問題	保健体 育科	自分と家族のみん なが「健康」になれ				
	きたことを使ってさらによ			に対し改善点を明確	HALL	る食べやすい献立				
改	くしよう。			にして、1食分の調		を考えようとする				
善善	・家庭実践で調理する梓川井			理計画を考える力		態度				
	を中心にした1食分の献 立の見直しと, 食生活の学									
	立の見直しと、食生活の字 習のまとめをする。									
		衣食住の生活」 (1)	「食事の行	L 役割」(2)「調理の基礎	<u>*</u> 」(3)「	<u> </u> 栄養を考えた食事」				
	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	技術分野 「生物育成	松本一本	ネギの栽培」						
	*3 総合的な学習の時間 「り	んこ摘果作業・加工ト	マト用収積	獲作業」「福祉施設での記録	<b>奉</b>					

# 4 学習指導の実際

(1) **題材名** 「私にまかせて"あなたの健康梓川丼"」(全11時間)

# (2) 題材の目標

生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての 知識・理解
健康によい食習慣について関心	日常食の調理と自分・家族・	日常食や地域の食材を生かし	健康によい食習慣について理
をもって学習活動に取り組み,	地域の人々の食生活に課題を	た調理に関する基礎的・基本	解する共に、日常食や地域の
食生活をよりよくするために実	見付け,その解決を目指して	的な技術を身に付けている。	食材を生かした調理に関する
践しようとしている。	自分なりに工夫し創造してい		基礎的基本的な知識を身に付
	る。		けている。

# (3)「学習の展開」

学習問題	学習活動	指導・評価 (◎)	時間
導入 自分の食生活を 見直し、課題の 解決策を考えよ う。	・「健康的な生活を送るために、食事作りで気を付けていきたいこと」今の自分の考えを書き、解決策を考える。 ・モデル食事から課題の設定(1~6群、1日30品目、朝昼夜、様々な調理法・味付け・食品、誰のための食事)をし、解決策を考える。	・モデル食事を提示し、課題を発見できるようする。 ・生徒が自然と気付くように栄養や調理法など観点を明確にする。 ◎自分の食生活に課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫している。 ▼ 1. 1	1
自分のための 井づくり (肉) 自分の食生活を 見直し、課題を 解決できる丼づ くりをしよう。	・親子丼(肉の調理,とろみの付け方,だし汁(カツオと昆布の混合))とすまし汁を調理する。技術分野で育てた野菜を活用(産地・安全性・新鮮・旬)する。・当日ある食材の中から選んで作る。収穫できた野菜,2群(乾燥わかめ,とろろ昆布,チーズ,桜海老)、乾燥しいたけ・観点に合っているか試食し合い,振り返る。(計画・実習・振り返り)	・基本的な技能を身に付けられるように調理法を確認する。 ・振り返りの場面の際には観点を確認できるような学習カードを利用し、自分も友にも自分の課題解決の経過が明確に分かるようにする。 ◎肉やだし汁を生かした調理に関する基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。 知識・技能 ◎観点に対して具体的に振り返り、自分の食生活をよりよくしようとしている。 関・意・態	
家族のための 井づくり(魚) 家族の食生活の 問題を発見し, 課題解決のため に解決策を考え よう。	・家族にインタビュー「食事作りで気を付けていること」を参考にして家族の食生活を見直し、課題を解決できる丼を調理する。・かば焼き丼(魚の調理、小麦粉の調理)・技術分野で育てた野菜を活用(産地・安全性・新鮮・旬)・当日ある食材の中から選んで作る。収穫できた野菜、2群(乾燥わかめ、とろろ昆布、チーズ、桜海老)、乾燥しいたけ・観点に合っているか試食し合い、振り返る。(計画・実習・振り返り)	・基本的な技能を身に付けられるように調理法を確認する。  ②生魚の調理やたれにとろみを付ける基礎的・基本的な技能を身に付けている。  知識・技能 ・振り返りの場面では観点を確認できる学習カードを利用し、自分も友にも課題解決の経過が明確に分かるようする。  ③観点に対して具体的に振り返り、家族の食生活をよりよくしようとしている。  関・意・態	3
家族みんなのための梓川井づくり(地域食材を使って家族みんなのために健康梓川井を作ろう。	・地域食材の松本一本ネギのよさを知る。 「ネギのぽったり煮」の実習で、調理法 や加熱時間による食感の違いを知る。 ・弟や妹、中学生、祖父母の年代ごとの食 事の工夫を知る。栄養、大きさ、味付 け、やわらかさ、盛り付け、食べ慣れた 地域食材の活用の観点を、献立や調理の 計画に生かす。 ・共通食材(ネギ、豚肉)を利用する。 ・ペアで健康梓川井の献立作成、調理する。	<ul> <li>◎地域食材の松本一本ネギのよさを生かし、基礎的・基本的な技能を身に付けている。知識・技能</li> <li>◎「健康」な食習慣について理解するとともに、地域食材を生かした調理に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。知識</li> <li>◎家族のみんなに「健康」になってもらえる食べやすい献立を考えようとしている。関・意・態・年代ごとの食事の工夫点を生かして献立を考えられるように観点を示す。</li> </ul>	3
<b>試食・改善</b> ネギを食べちゃいたくなる家族 みんなのための 健康梓川丼をもっとよくしよう。	・食材のよさを生かした調理法の工夫,食 べる人に合わせた調理法の評価・検討を して献立を工夫する。(本時)	・友や地域の方がアドバイスしやすいように観点に沿って工夫したことについて分かるようにする。 ◎食材のよさを生かし、食べてほしい人に合わせた工 夫ができたか見直すことができる。 エ・創	本 時 1
振り返り 自分の食生活の 課題を解決する ために、てきたこ とを使ったさら によくしよう。	・家庭実践で調理する梓川丼を中心にした 1食分の献立の見直しをする。 ・調理について、食品の選択や調理の仕 方、調理計画を考える。 ・学習のまとめとして、「健康」によい自分 の食習慣について自分なりの考えをまと める。	<ul> <li>◎「健康」の視点から自分の食生活の問題の解決に向け改善点を明確にして、1食分の献立と調理計画を考え深める力。</li> <li>②自分と家族のみんなが「健康」になれる食べやすい献立を考えようとしている。</li> <li>関・意・態</li> </ul>	1

#### (4) 本時の学習指導案

### ① 本時の位置 (全 11 時間中第 10 時)

【前時】地域食材のよさを生かし、家族みんなの健康のための梓川丼の工夫を考え、実際に調理した。

【次時】家庭実践で調理する梓川丼を中心にした1食分の献立の見直しと、食生活の学習のまとめをする。

#### ② 主眼

健康梓川丼の計画を振り返る場面で、地域食材のよさを生かす調理や食べてほしい人に合わせた工夫ができたか、友や地域の方と試食しながらアドバイスし合うことを通して、調理の工夫を見直すことができる。

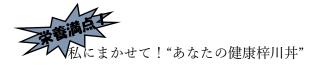
#### ③指導上の留意点

・松本一本ねぎのよさを生かした調理になったか、高齢者や幼児にとっても食べやすい工夫ができたか、食生活 改善推進協議会や、高齢者施設の方にも試食していただき、専門的な立場からアドバイスをいただく。

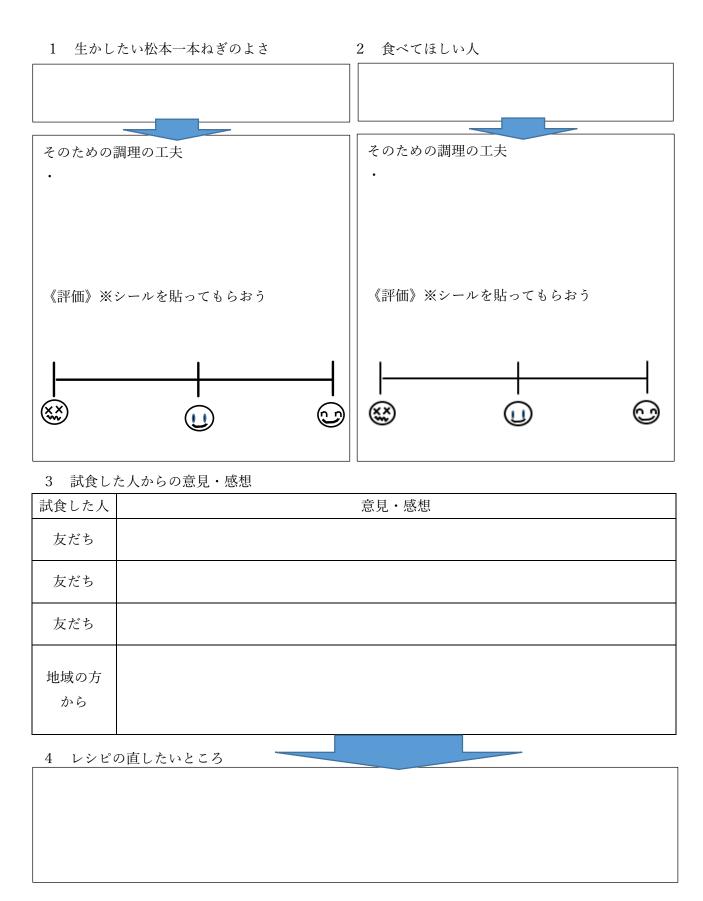
#### 4 展開

段 階	学習活動	・予想される生徒の反応	指導・評価 (◎)	時 間
	学習問題:ねぎを食べ	ちゃいたくなる家族みんなのための健康梓川丼をもっ	っとよくしよう!	
課題把握	1 自分たちの梓川 井を試食し, 試食の 観点を確認する。	<ul> <li>おいしそうにできた。早く食べてみたい。</li> <li>ねぎの甘みを生かすために、ぶつ切りにして 10 分以上だしで煮てみた。やわらかくできたのでこれなら小さい弟妹でも食べられると思う。</li> <li>いろいろな工夫をしてみたけれど、他の人がどう評価してくれるか気になる。</li> <li>家族みんなに食材のよさが伝わるような丼ができているのかを見直したい。</li> </ul>	・ペアで作ったものを試食し、工夫したことについてどうであったかをプリントに書く。 ・フラッシュカードで観点を再度確認する。 ねぎのよさ: 甘み、食感、香り 家族みんな: 小さい弟や妹 (大きさ、やわらかさ、盛り付け、素材の味)、中学生・大人 (たんぱく質、野菜、栄養、大きさ)、祖 父母 (大きさ、やわらかさ、素材の味)	10
		を生かした調理や <u>家族みんなの健康</u> に合わせた工夫が 、香り) (大きさ、やわらかさ、味付け、盛		
追究・実践	2 他ペレース を で で で で で と か と か と か と か よ を と 、 で で こ と く 。	<ul> <li>・ねぎの香りを生かすために、具材の上にねぎのみじん切りをのせるのは彩りもよくなっていいと思う。</li> <li>・具材が小さく切られているので、口が小さくても食べやすいように小さい弟妹向けだと思う。</li> <li>・時間をかけて煮れば、ねぎの甘みだけでなく、とろとろした食感も同時に楽しめていいと思う。</li> <li>・特に祖父母向けだとあんかけでまとめるという案がほめられていていいな。飲み込みにくくなる年代というのもあるんだな。取り入れたい。</li> <li>・長時間煮て少しの塩としょう油で味付けたのでねぎの甘味を生かしてできたと思う。食改の人にも言われたけれど味付けはあまり濃すぎない方がねぎのよさを生かすことができると思う。味付けはこのままでいこう。</li> <li>・大きめに切って歯ごたえよく作ってあった班と細かく切って全ての具材が混ざり合っていた班があった。自分たちの班はどちらの大きさの方が良いか考え直したい。</li> <li>・ねぎの香りが生きるようにみじん切りをして上に添えたのは好評だったのでこのまま使おうとおもう。</li> </ul>	・食生活改善推進協議会の方や高齢者施設の方も回って試食することを伝える。 ・調理の工夫を書いた三角柱を机の上に立てる。 ・ペアの一人は残り、試食に来た人に丼を紹介しながら良さや改善点を話し合う。もう一人は他班に試食しに行き感想を話し合う。5分たったら役割を交代するように声をかける。・食べてほしい人が同じところを回るようにする。一人当たり3~5ペアの試食をする。 ・他ペアのよさや自分たちの丼のもっとよくしたいことを学ぶように意識させる。 ・観点に沿ってよくできていた丼を1つずつぐらい紹介してもらう。・食改の方や高齢者施設の方から話を聞いてわかったことなどを書く。  ②ねぎのよさを生かした調理や、食べてほしい人に合わせた工夫ができたか見直すことができる。  「上創 ・もらったアドバイスを確認し、作った丼が願いに沿ったものになっていたか振り返るようにする。	10
整理・発展	5 「今後の食生活に 生かしたいこと」を 書いて発表する。	・生産者の想いがこもったねぎなので、おいしく食べてもらうためにとろとろの食感を生かし煮物のレシピにした。また祖父母も飲み込みやすいように片栗粉でとろみをつけたのもよかった。 ・地元の食材を使うと、安心や美味しさを感じやすくなるということが分かった。健康的な食生活のために地元のものを多く選べたらいいと思う。	<ul> <li>・ワークシートを交換し、ペアの評価を書く。</li> <li>・地域食材のよさや食べてほしい人に合わせた工夫について考えが深まっている生徒に発表を促す。</li> <li>・今後の食生活に生かしたいことも書き、「健康」に対して考えが深まっている生徒に発表を促す。</li> </ul>	10





# ねぎを食べちゃいたくなる家族みんなのための健康梓川丼をつくろう



5 つ	くり方					
《材料(	(1名分)》※	大さじ、 小さじの計	量で書くこと			
	肉 80g	•		できあがり	) 図	
·松本一	・本ねぎ	g ·				<b>并</b>
•		•				
•		•		<b>**</b>	# 11	14
					4	
•		•				
《調理(	の手順》					
1						
<b>学</b>	FIND S	※1 食分	の献立として考え.	1~5(6)群を全	て入れること	
18		2群	3群	4群	5群	6群
	<u>・・</u> バラ肉		ねぎ(青)	ねぎ(白)	*	豚バラ肉脂身
   物						

(名前

		2年 組 番 氏名
今日のメニュー	今日のメニュー	今日のメニュー
な親子丼	な無のかば焼き丼	なる家族みんなのための健康梓川丼
学習課題に関わって振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学習課題に関わって振り返り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	学習課題に関わって・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
できあがり写真 ※工夫したことを書き足そう	できあがり写真 ※工夫したことを書き足そう	できあがり写真 ※工夫したことを書き足そう
《わかったこと・できるようになったこと》	《わかったこと・できるようになったこと》	《わかったこと・できるようになったこと》
《今後の健康的な食生活に生かしたいこと》 《ペアからの評価》 ☆☆☆☆☆	《今後の健康的な食生活に生かしたいこと》 《ペアからの評価》 ☆☆☆☆☆	《今後の健康的な食生活に生かしたいこと》 《ペアからの評価》 ☆☆☆☆☆

(名前

(名前

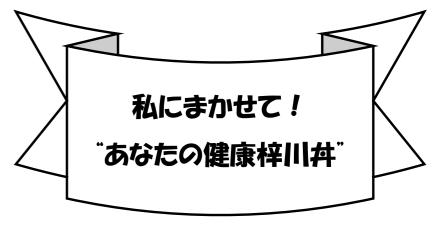
# 自分の食生活を振り返ろう

1 自分の中での調	理レベル	
学習前		
学習後		
0 全然だめ <b>※※</b>	5 そこそこできる <b>(</b>	自信あり <b>10</b>
2 自分の食事調べをしてみて 健康的な食生活%		
項目	学習前	学習後
3 健康的な食生 活で大切だと思う こと		表紙にきれいにまとめること
4 健康的な食生		/
活のために身につ		
いていると思うこ		
٤		
5 健康的な食生		
活のために身につ		
けたいと思うこと		
6 お家の人はど んなことに気をつ けながら食事を作 っているのか聞い てみよう(宿題)		

調理の知識を整理しよう
<b>親子丼で使用した肉</b> :肉の種類( <sub>1</sub> ) 部位( <sub>2</sub> )
肉を柔らかく調理する工夫:
<b>混合だし(昆布とかつお節)</b> : 昆布はぬれ布巾でふき(3 ) につける。
そのまま中火にかけ、 $\binom{4}{4}$ )直前に取り出す。沸騰したら $\binom{5}{5}$ )
を入れ、再び沸騰したら火を消す。かつお節が沈んだらこす。
だしの種類:
<b>片栗粉</b> :( <sub>6</sub> )を付けることにより、冷めにくく( <sub>7</sub> )や
すくなる。
<b>衛生面</b> :野菜と魚・肉の( <sub>8</sub> )は分ける。生肉・生魚には寄生虫や
細菌がいることもあるので、中までしっかり(。 )を通す。(10 )
を防ぐために、肉を触ったらすぐに手を洗う。
<b>火加減</b> : 魚・肉のうまみを逃さないために、最初に( <sub>11</sub> )火~( <sub>12</sub> )
火で加熱し、表面の ( <sub>13</sub> ) を固め、続けて ( <sub>14</sub> ) 火にし、中
まで火を通す。煮魚は煮汁を( <sub>15</sub> )させてから入れる。
魚の臭みを消すには:
<b>小麦粉</b> :魚から出る( <sub>16</sub> )を吸収した小麦粉が,( <sub>17</sub> )によって
のり状の薄い膜となり (糊化), 魚のうまみを閉じ込める。
野菜: ( <sub>18</sub> ) は沸騰した湯に入れ ( <sub>19</sub> ) をせずに短時間でゆで、
水にとって冷やす。根菜は(20 )から火にかける。火の通りにくい野菜
を (21 ) してから使うこともある。生のままより火を通した方が
(22 )が減るため多く摂取できる。
梓川丼で使用した肉: 肉の種類 ( <sub>23</sub> ) 部位 ( <sub>24</sub> )
<b>薄味</b> :①だしを使う…素材の味が引き立ち, コクと( <sub>25</sub> )を引き出
す。②香りをつける…(26) )野菜を使ったり焼き色をつけたりするこ

)の食材は味も濃く栄養価も高いものがある。

ものを組み合わせる。(28





健康的な食生活のためには

#### 平成30年度 技術·家庭科(家庭分野)3年間指導計画 (松本市立梓川中学校)

1年

																	前期		·通年																
時数	1	2	3	4																															
	A家族																	В	衣食																
項指 目導	A(1)7	A(1)7	A(3)ア (イ)	B(1)7 (7)	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$							B(4)ア (ア)	B(4)ア (イ)	B(4)ア (ア)		B(5	5) <b>ア</b>		B(-	4)イ															
	Ф		年	基金	礎的な	は技能	を身( 生		よう	1			を送る と割を理						B		の調理	をし。	kう		ı					基礎	基礎	基礎			
学習活動	〒学生としての自立を考えよう ガイダンス	家族・家庭の役割を考えよう	代に応じた関わり方を考えよう	事の役割・計量の仕方を理解しよう	りんごの皮むきをしよう	錦糸卵を作ろう	生鮮食品と加工食品を比較しよう	食品表示から情報を読み取ろう	りんご蒸しパンを作ろう	栄養の種類と働きを理解しよう	中学生に必要な栄養の特徴を理	6つの食品群に食品を分類しよう	1日分の献立作成をしよう	1日分の献立作成をしよう	よりよい食習慣を考え工夫しよう	サラダを作ろう(計画)食事摂取基準を満たす	作ろう(実践・振り返り) 食事摂取基準を満たすサラダを	ろための	を食作の	(実践・振り返り) 昼食のためのチャーハンを作ろう	イをル	を作ろう(実践) 昼食のためのスパゲッティ	った	季節の食事を作ろう(計画)	季節の食事を作ろう(実践)	(実践・振り返り) 季節の食事を作ろう	衣服の働きを理解しよう	衣服の手入れをしよう	和服を着装してみよう	しよう(計画) のな技能を使った簡単な小物製作を	しよう(実践)的な技能を使った簡単な小物製作を	(実践器	しよう(実践・振り返り)な技能を使った簡単な小物製作	衣服の選択をしよう	衣服の選択をしよう
息	0	0																0			0			0											
割														0	0			0		0	0		0	0		0		0					0		
技能				0	0	0	0	0	0																			0		0	0	0	0		
知識		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0		0	0		0	0		0	0	0	0	0					0	0
域とのつなが		小学校家庭科			地域食材の	地域の主婦の			地域食材の	小学校家庭科 保健体育科	理科 保健体育科		特別活動 小学校家庭科														小学校家庭科	小学校家庭科		小学校家庭科					

前期·後期·通年 12 13 14 15 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 内容 B 衣食住の生活 C 消費生活·環境 B 衣食住の生活 B(3) B(5)1 B(6) B(6) 7(7) 7(1) 項指 目導 生活を豊かにするための布を用いた製 生活を豊かにするための布を用いた製 生活を豊かにするための布を用いた製 生活を豊かにするための布を用いた製 生活を豊かにするための布を用いた製作 消費者トラブルについて理解しよう 生活を豊かにするための布を用いた製 生活を豊かにするための布を用いた製 生活を豊かにするための布を用いた製 をしよう(振り返り) 生活を豊かにするための布を用いた製 地域食材で健康梓川丼を作ろう(実践 さらに改善しよう(振り返り) 目分の食生活を学習したことを生かし について理解しよう計画的な金銭の管理とクレジット をしよう(製作 ) 生活を豊かにするための布を用いた製 『域食材で健康梓川丼を作ろう(改善 住まい方の工夫を考えよう(計画 住まい方の工夫を考えよう 住まい方の工夫を考えよう(実践 域食材で健康梓川丼を作ろう(計画 安全で快適な住まい方を理解しよう (親子丼調理の実践・振り返り) 自分の食生活を改善しよう 自分の食生活を改善しよう 家族の食生活を改善しよう (課題発見) 地域食材で健康梓川丼を作ろう 商品の選択と購入を理解しよう 自分の消費行動を振り返ろう 住まい方の工夫を考えよう (親子丼の調理の計画) 自分の食生活を改善しよう (かば焼き丼調理の実践)家族の食生活を改善しよう かば焼き丼調理の振り返り家族の食生活を改善しよう 住まい方の工夫を考えよう 住まい方の工夫を考えよう 住居の役割を理解しよう 「課題発見) (課題発見) 学習活動 (実践 0 0 0 0 0 0 0 工創 技能 知識 0 技術分野 域とのつなが他教科等や地 技術分野 小学校家庭科 小学校家庭科 保健体育科 公開授業 保健体育科 社会科 社会科 社会科 社会科 社会科

3年

								前	期·後	期·通	年							
時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	- 11	12	13	14	15	16	17	18
内容				,	4 家族	<b>疾•</b> 家	庭生活	5					-	2 消	費生活	5∙環均	竟	
項指 目導	A(3) ア(ア)	A(2)ア (ア)		A(	2)7(7	7)(イ	)1		A(3) 7	A(3) ፖ(イ)	A(3) イ	C(2) アイ	C(3)	ア消費		環境(		ての
学習活動	自分の成長を振り返ろう	幼児の発達の様子を理解しよう	幼児との遊びを考えよう(計画)	幼児との遊びを考えよう(準備)	理解しよう はいでの注意点を	幼児と触れ合おう(実践)	幼児と触れ合おう(実践)	幼児と触れ合おう(振り返り)	幼児を支える家族・地域を理解しよ	高齢者との関わり方を理解しよう	これからの私と家族を考えよう	消費者の権利と責任を理解しよう	環境に配慮した消費生活を考えよう	環境に配慮した消費生活考えよう	環境に配慮した消費生活考えよう	環境に配慮した消費生活考えよう	環境に配慮した消費生活考えよう	環境に配慮した消費生活考えよう
意	0			0		0	0							0	0	0	0	0
割			0	0		0	0	0			0	0	0	0	0	0		0
技能																		
知識	0	0	0		0				0	0		0	0					
域とのつなが	学校生活					保育園訪問	保育園訪問			道徳 福祉体験		社会科	社会科					

	分科会資料 家庭科,技術・家庭科の食に関する 梓川小学校 家庭科	梓川中学校技術・家庭科 家庭分野	所学習指導要領で追加された内容 
題	はじめてみようクッキング(5年)4月	1年時	1年時
材	食べて元気に (5年) 11月 [11時間]	家族・家庭の役割を考えよう	家庭総合
名	・なぜ食べるのか考えよう	基礎技能を身につけよう	・食物と人の関わり
白	・5大栄養素の働き		
		健康な食生活を送るために食事が果たす働きを理解しよう	・栄養と食品の関わり
	・3つの食品のグループとはたらき	・献立作成	・食品の選び方と安全
	・ご飯とみそしるを作ろう	・食事摂取基準をみたすサラダの計画・調理	・食生活のデザイン
	工夫しよう朝の生活「朝食を考えよう」6年[8時間]	・昼食になる日常食の調理(計画・実践・振り返り)	3年時
	工夫しよう楽しい食事(6年)11月[14時間]	・火加減調節をしてパラパラチャーハンを作ろう	フードデザイン
	・バランスのよいこんだてを考えよう	・栄養バランスのよいスパゲティを作ろう	・食生活の充実・向上
	・身近な食品でおかずを作ろう	・季節の食事を作ろう	(食生活の変化と現状,よりよい食生活を創
	・家族と楽しく食事をしよう	2年時	造するために)
		・自分の食生活を見直し、課題の解決策を考えよう	・健康・栄養・食物(健康に必要な栄養素)
		・親子丼と汁物の調理	・献立と調理
		・家族の食生活を見直し、課題の解決策を考えよう	(調理の基本・様式別の献立と食事作法・テ
		・さんまのかば焼き丼の調理	ーブルコーディネート)
		・地域食材で家族みんなのための健康梓川丼を作ろう	
		(課題発見・計画・実践・振り返り)	
		・家庭実践の献立と調理計画をたてよう	
		・健康的な食生活について自分なりの考えをまとめよう	(梓川高等学校)
栄	・食事の役割が分かる、日常の食事の大切さと食事の	・食事の役割,健康によい食習慣について理解し,考え工夫する	・五大栄養素、その他の成分(ポリフェノール・)
養	仕方について理解する	・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解する	ロチノイド)
	・五大栄養素と食品の体内での主な働きを中心に扱		  ・日本人の食事摂取基準(自分の年齢,性別
食	5	・水、食物繊維の働き	身体活動)
品	(炭水化物,脂質,たんぱく質,無機質,ビタミン)	・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成	・栄養的特質による食品群の分類
нн	・食品の栄養的な働き(三つのグループ)	の方法について理解する(栄養、し好、調理法、季節、費用などから	・食事群別摂取量のめやす
	・体内での3つの働き	検討ができるが、ここでは、栄養を考えた食品の組み合わせを中心に	・献立の栄養評価
	PART CV7 U JV7 BIJ C	指導する)	・栄養価計算
		・食事摂取基準, 日本食品標準成分表の活用	· 木食 III 口 异
	料理の金目の知ち入れは		◆車の4~の機能(4-四位)と四位、社へ位
	・料理や食品の組み合わせ	・食品の組合せ(食べる量の把握)	・食事の4つの機能(生理的、心理的、社会的
		・生鮮食品・加工食品の表示,良否の見分け方	な文化的機能)
			・現代の食生活の問題点
			・わが国の食料事情
	・1 食分の献立について栄養のバランスを考え工夫	・中学生の1日分の献立を考え <u>工夫する</u>	・対象者の年齢ごとの栄養の特徴,性別,嗜好な。
	する		に応じた主食、主菜、副菜、汁物などを組み合物
	・献立を構成する要素として、主食、主菜、副菜につ		せた献立と調理(病気時,乳幼児期,青少年期
	<u>いて扱う</u>		青年期, 高齢期の食事)
	・1人分の材料の分量	・日常食の調理(魚、肉、野菜等を取り扱う基礎的な題材)	・日本料理, 西洋料理, 中華料理, その他の国の#
	・手順を考えた調理計画	<ul><li>・地域の食材とだしを用いた煮物汁物に<u>和食の調理</u></li></ul>	理(米,小麦粉,いも類,豆類,野菜,果物な。
調	・米飯とみそ汁	・日常生活と関連付けた用途に応じた食品の選択	の植物性食品と獣鳥肉類, 魚介類, 鶏卵, 牛乳フ
理		・ 日常の1食分の調理について食品の選択や調理の仕方, 調理計画を考え	どの動物性食品)
		工夫する	
	・洗い方、切り方、味の付け方(塩・しょうゆ)の塩	・食品の適切な洗い方、切り方、調理の目的に合った調味	・調味料などの組合わせ、量、入れる時期、順序を
	味を基本とする	(食塩,みそ,しょうゆ,さとう,食酢,油脂)	ど味やテクスチャーの関係
	・盛り付け、配膳及び後片付け	・材料に適した加熱調理の仕方	
	<ul><li>・ゆでる材料としては、青菜、じゃがいもなどを扱う</li></ul>	<ul><li>・煮る,焼く,炒める,蒸す</li></ul>	│   ・煮る,ゆでる,蒸す,焼く,炒める,揚げる
	<ul><li>・いためる</li></ul>		
 安	・生の魚や肉は扱わない	・安全な包丁の使い方	・主な加熱操作と非加熱操作について食品の栄养
女 全	・野菜の洗い方	・食品の適切な取り扱い(保存方法と保存期間)	性や栄養的特徴、食品衛生などと関わらせて
工.	・野来の洗い方 ・片付けの仕方	・食品の適切な取り扱い(保存方法と保存期间) ・ゴミの適切な処理	
	・ 月 13 17 971上刀		り扱う。
• <b></b>	. 調理用目の合唱の形が振い、	・調理用具の正しい使い方	・食品の安全性(食中毒,食品添加物,
衛	・調理用具や食器の取り扱い	ともとのよれにの氏が知い、	IIACCD)
	・調理用具や食器の取り扱い・加熱用調理器具の取り扱い	・ふきんやまな板の取り扱い	HACCP)
衛 生 	・加熱用調理器具の取り扱い	・熱源の安全な取扱い	
衛生		<ul><li>・熱源の安全な取扱い</li><li>・地域の食材を用いた<u>和食の調理</u></li></ul>	・正月料理などの行事食
衛 生 	・加熱用調理器具の取り扱い	・熱源の安全な取扱い	・正月料理などの行事食
衛生	・加熱用調理器具の取り扱い ・伝統的な日常食(米飯とみそ汁), <u>だしの役割に触</u>	<ul><li>・熱源の安全な取扱い</li><li>・地域の食材を用いた<u>和食の調理</u></li></ul>	
衛 生 食 文	・加熱用調理器具の取り扱い ・伝統的な日常食(米飯とみそ汁), <u>だしの役割に触れる</u>	<ul><li>・熱源の安全な取扱い</li><li>・地域の食材を用いた<u>和食の調理</u></li><li>・調理を通して地域の食文化の理解</li></ul>	・正月料理などの行事食 ・もてなしや慶弔などの目的に合った献立と適ち